

画像データ自動転送・移行のアシストシステム



LamAutoMove

DICOMデータ転送ソフトウェア

DICOM Auto Move

特徴 必要なDICOMデータを指定した時間に自動転送

PACSや画像サーバのDICOMデータを、指定した送信先へ自動的に転送・移行を行うソフトウェアです。(送信元のシステムに対して送信先へ転送要求を行います。)

曜日毎の転送時間設定や1台のPCに複数ライセンスのインストールができるので、システムの稼働時間を避けての運用など、様々な用途に合わせた転送・移行作業が可能です。

機能

複数インストール機能

- 1台のPCに最大8つまでインストールでき、各タスク毎に転送条件を設定可能
※インストール数分のライセンスが必要です。

自動転送

- 転送条件を基にDICOMデータを自動転送
DICOMデータの移行にかかる手間を大幅に軽減

転送時間設定

- 曜日ごとに自動転送と自動再送時間を設定可能

転送データ指定

- 任意の患者ID、日付、モダリティを設定し、転送するDICOMデータを指定

ログ表示機能

- 自動転送処理のログを保存
過去のログよりエラーDICOMデータの再送も可能

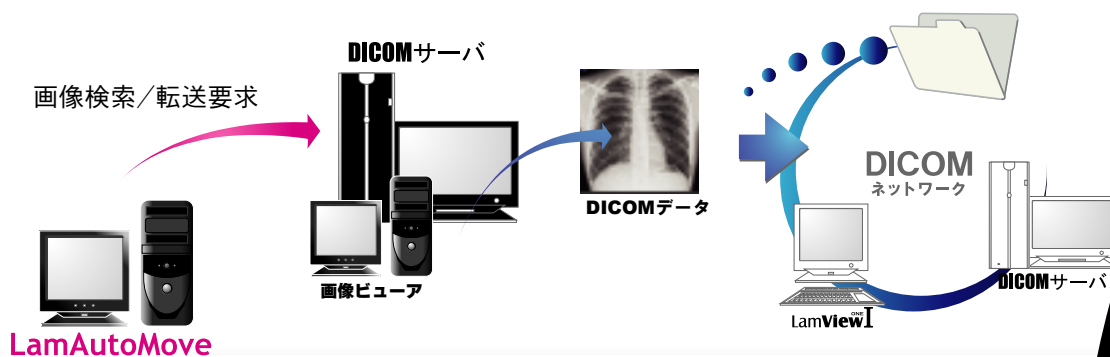


転送画面



転送条件設定画面

構成図



LamAutoMove



LAMDIA